

第295号

(平成28年9月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会  
茨木市宮島1-1-1  
TEL (072) 636-3698  
FAX (072) 636-3699  
MAIL: 36983699@  
iaa.itkeeper.ne.jp

# 大阪府市場だより



絵：「いわし」磯野 由美（磯丸運送）

## 青果くずの処理対策等を協議

### 定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が9月15日9時から、管理棟4階会議室で開催された。山口秀雄議長（府水産物卸協同組合理事長の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、青果くずの処理対策（排出量の抑制と処理負担金の見直し）について、管理センター宮前統括から、「4月から8月までの間に、昨年同時期に比べて226トン、処理金額にして429万円の増加であり、このまま推移すると、年間540トンで1千万円の増加となる。昨年度は、青果組合及び青果卸会社で7百万円、管理センターで15百万円の負担をしているが、管理センターではこれ以上の負担は困難」との説明があった。この対策として、①場内で青果物を購入してもらっても、加工品によるゴミの持ち込みはしないこと、②管理センターの負担分15百万円を超える分は青果サイドでお願いしたいこと、③受益者負担で計量して負担してもらうことなどの提案があった。堀ノ内大果支社長からは、神戸市や東京都の中央市場のゴミ処理対策についての報告があり、①排出ボックスの区分け、②ゴミの投函時間の限定、③生ゴミ袋の使用（有料化）、④ゴミボックス前にビデオカメラ配置、⑤不法投棄違反者の警察への通報など対策例が示された。また、同支社長は、「産地の問題もあるがどこからでもゴミを持ってこられたら大変なことになる。府市場はゴミの無法地帯になっている」と指摘された。東野青仲組合理事長は、「持ち込みゴミばかりでなく異常気象でレタス、玉ねぎなど腐りが大量に発生している現状がある」と説明された。三木北果社長は、「堀之内支社長の案をたたき台に、ゴミの減量化を考へながら検討したい」と述べられた。これらの意見を受けて協議が行われた。山口議長は「場内のゴミルールに反する排出は、場内には不法投棄として排出業者に市場内への立ち入りを禁止する処分が考えられるので、取扱時間を看板に大きく表示し、監視カメラと警備員により遵守してもらおうようにしていきたい。また、今年度増加分は青仲組合と卸会社で負担をお願い

したい。青仲組合の研究でも検討していただき、次回のこの会議で公示したい」と述べられた。

議題2、禁煙対策（分煙の徹底と行政処分）について、宮前統括から説明があり、「ボヤ事件後もまだボイ捨てやぐわえたばこがみられる。分煙コーナーを設置しながら、それ以外の場所での喫煙者には、来年4月以降、市場の出入り禁止措置をとる方向で開設者と協議していきたい」と提案があり、了承された。

議題3、量販店へのトップセールスの展開について、宮前統括から、「実施する方針を決めていただき、今後具体化を検討したい」との説明があり、了承された。

議題4、府の菅野次長から、公表された次期指定管理者の公募内容と平成29年の臨時休開場日、9月22日開催の大阪新阪急ホテルでの「産地フェア」ホテルデメールシエ」の報告があった。

議題5、管理センター宮前統括から次頁のとおり報告があった。

議題6、三木福利厚生部会長から、9月8日に手芸教室がなごやかに開催され、その作品は10月の文化祭に出品いただき、盛り上げていただくことを考えていることなどが報告された。

議題7、食品流通センターの田中常務から、リサイクル工事の進捗状況が報告された。

議題8、事務局から、第2回市場開放実行委員会について、次頁のとおり、報告された。

最後に、中村府市場長から、8月20日に開催された府主催の府政学習会（市場見学会）でお世話になったお礼と府議会の開会が27日であることなどの話があった。



平成29年 市場カレンダー決まる

大阪府中央卸売市場では、9月9日に次の通り平成29年臨時開場日及び臨時休業日を決定した。開場日数は264日、臨時休業日31日、臨時開場日1日で、今年はいうる年だったため、開場日数が2日減少する。5月の3連休を回避してきたが、来年は臨時開場日を設けず3連休とした。8月の盆休みを8月13・14・15日に設定した。今回東西で統一カレンダーとなった。○府条例上の休日71日○臨時開場日(1日)平成29年12月23日(祝)

平成29年臨時休開場日カレンダー

大阪府中央卸売市場 開場日数 264日. 1月(20日), 2月(20日), 3月(23日), 4月(21日), 5月(22日), 6月(22日), 7月(23日), 8月(22日), 9月(22日), 10月(22日), 11月(22日), 12月(25日). Includes a legend for public holidays and temporary days.

第2回市場開放デー実行委員会を開催

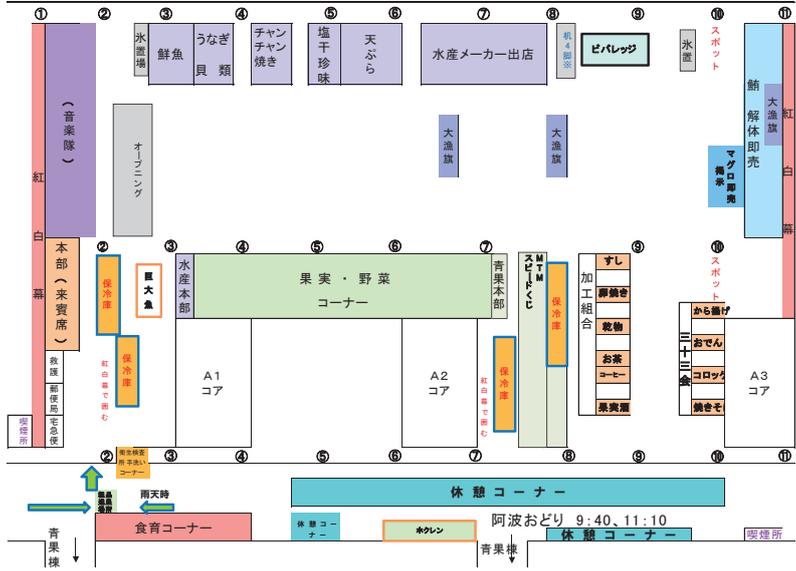
市場開放デー実行委員会(榎本昭弘委員長)府水産物卸協同組合副理事長、細田喜代司副委員長、府青果卸売協同組合副理事長は、9月13日に第2回目の委員会を開催した。榎本委員長が、「いよいよ開放デーまで2か月、準備に本腰を入れていただきたい」と挨拶、開放デーの各項目について協議を行った。当日のスケジュールでは、府立市

岡高校の吹奏楽を8時30分から開始し、8時45分に一時休止してオーリングセレモニーを実施、理事長の挨拶、来賓の紹介、そして榎本実行委員長の開会宣言を行い、これを皮切りに、販売・試食の開始や吹奏楽の演奏再開、主催者・来賓等記念撮影を行うなどのスケジュール案を決めた。そのほか、イベントや会場配置を協議のうえ決定した。



市場開放デーイベント案内

Table with 2 columns: 租品進呈 (Product Introduction) and 旬の魚等の即売 (Seasonal Fish etc. Direct Sale). Lists various food items and their sale locations.



管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告があった。(税抜)
●活性化事業 □ハード事業
●仲卸店舗番号看板改修【工期】8/31
●管理棟トイレ改修第1期...140万円
●4階以下本年度(大阪府共管)第2期...57階以下来年度
●第1期事業の概要【工期】7/13
●12/31【事業費】5千万円(一部大阪府負担)※特記事項
●工事期間中トイレを順次使用禁止。8/28より10/1階以下7階以下使用禁止。但し、管理棟裏の仮設トイレは使用可。

■カラス対策 ●捕獲数5回
150羽、次回未定
■その他 ●薬局の再開 ※8/1
●営業時間 ↓ 9:00 ~ 18:00
(日・水曜日休業) ●診療所の診療再開(医療法人) ※9/1
●営業時間 ↓ 月・火・木 午前中のみ (当分の間)



□ソフト事業 ●イオン市場直送セイル(水産物)
●四条畷店 9/17
●大阪新阪急ホテル産地フェア 9/22
●もずやんパースデザインイベント中之島公園 10/8 (もずやん動画コンテンツ表彰式)
■修繕事業 ●118件、約310万円
●青果卸棟2階回廊塗装修繕工事【工期】6/10 ~ 9/30
【事業費】740万円
●水産卸棟2階回廊塗装修繕工事【事業費】521万円完成 8/23

### 府政学習会による市場見学が開催される

大阪府では、府政を身近に感じていただくため、府施設の見学会を実施している。8月20日には府市場を対象に見学会が実施され、抽選で選ばれた府民大人40名、子供9名の皆さんが参加した。

8時45分に、市場に集合し、2班に分かれて、まずは9時に開始の青果のせりを見学、次に、水産仲卸の拓新水産(株)の杉江会長から魚の話や魚の話を聞いた。青果仲卸から冷蔵庫施設の説明を受けた後管理



棟に戻って、手洗いチェッカーを体験して、汚れが残っているさまを見てびっくり。次に会議室では、①府市場から市場の概要説明を聞き、市場紹介のDVDを鑑賞後、②食品衛生検査所から「食の安全」最新線の取組みが説明された。終わりに、府市場のマスクットせりちゃんとお大阪府の広報担当副知事もずやんが登場し、食育や府政のPRを行った。

### インターン生が小学生を案内

大阪府では、大学生の就業体験のインターン生を受け入れている。今回府市場に3回生の学生二人(男女)が8月29日から9月9日まで実習を行った。9月6日には、枚方市立招提小学校の5年生71名が市場見学に訪れた際には、2班のうち1班の案内役を担当した。インターン生は、市場の役割を優しく説明して、小学生に好評だった。



### 「一日お魚料理教室」2回目を開催

府水産物卸協同組合(山口秀雄理事長)は、第二回目の同教室を、9月9日に茨木市畑田コミュニティセンターで開催した。

今回の料理教室は、茨木市春日小学校家庭教育学級の依頼によるもので、生鮮食品の消費拡大や食育事業に取り組み同組合と府市場管理センター(株)、水産卸の(株)うおいち、(株)大が協力して実施された。同組合では、拡販委員会の長尾昌哲委員長、井上幸治理事のほか、うおいちの坂山さん、大水の田形さんなどが講師になった。当日の参加者は26名の主婦の皆さん。

長尾委員長が「お魚は天然のサプリメント、大いに食しましょう」との挨拶の後、鯛の三枚おろ



しとイカの料理、そして参加者に実習していただくアジの料理方法のコツを実演により説明された。実習に入ると、皆さん腕さばきもあざやかに、講師の助言を受けながら料理しておられた。お魚の専門家から、このような実習を受ける貴重な機会に参加でき、お魚料理への意欲が高まったと喜んでおられた。

### 衛検査だより

### 放射性物質の検査

### 5年間で3000検体

### 食品衛生検査所

平成23年3月に発生した東日本大震災。震度7の大地震により発生した津波や、大火災に続き、福島第一原子力発電所では炉心溶解(メルトダウン)が発生し、多量の放射性物質の漏えいを伴う事故となりました。事故直後、厚生労働省は原子力安全委員会の示した指標値を暫定規制値とし、関東以北17都県を中心に地方自治体において検査計画に基づく放射性物質検査を開始しました。

翌24年4月にはコーデックス委員会が決めた「自然由来の被ばく量に上乗せされても健康への悪影響がない」と見なせる被ばく量である

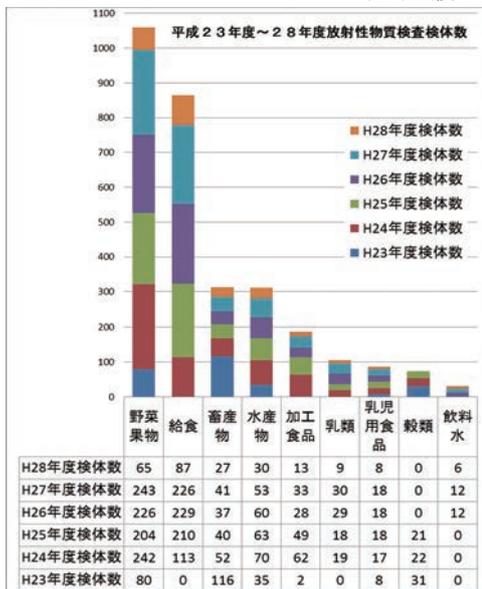
年間1ミリシーベルトという基準元に、食品中の放射性セシウムの基準値を設定しました。グラフは大阪府が検査を開始した平成23年8月から今年、28年8月まで5年間の品別検体数です。大阪府ではこの5年間に約3000の食品について放射性物質の検査を行いました。平成23年度には約270検体中10検体について放射性セシウムを検出。うち2検体が暫定規制値を越える640(1270)ベクレルを示しました。24年度の検査でも597検体中11検体からセシウムを検出しましたが、検出値は最大18ベクレルでした。一般食品の基準値は、食品1

kgにつき100ベクレルですが、すべての人が摂取し代替えのきかない飲料水については十分の一である10ベクレル、放射性物質の影響を受けやすい子どもや乳幼児用の食品については半分の50ベクレルとなっています。シーベルトというのは、放射線による人体への影響の大きさを表す単位です。ベクレルは放射性物質が放射線を出す能力の強さを表す単位です。食品は食べることで体の中に入りますから、その食品の中にある放射線の量が問題になります。

写真は府立公衆衛生研究所で使っているゲルマニウム半導体検出器です。重さ約2トン、鉛の塊のこの検出器は精度が高く、数ベクレルのセシウムも検出できます。当所が毎月収去させていただいている検体はこの機械で測定しています。この他



ゲルマニウム半導体検出器



より快適な暮らしを支えるために考えられた原子力発電ですが、大自然の前には諸刃の剣、油断は禁物です。

年に一度のお楽しみ! 大阪府中央卸売市場で **食べよう! 遊ぼう! 学ぼう!**

**旬の野菜・果物・魚の即売**  
 イベント1  
 当市場卸組合 (水産白米・ドマト・あかり・りんご等)  
 水産メーカー及び当市場卸組合 (松葉蟹・セコエ・フリ・鯛・うなぎ等)

**加工食品の試食・販売**  
 イベント5  
 先着1,000名様粗品進呈 AM8:30~  
 (焼きそば・おでん・お茶・コーヒー・鯖すし等)

**阿波踊り**  
 イベント4  
 ●9:40~ ●11:10~

**マグロの解体・即売**  
 イベント2  
 熟練したプロの技で、生のマグロを豪快にさばく! 滅多に見られない、マグロの解体をお楽しみください!

**食育・緑日コーナー**  
 イベント3  
 追手門学院大学の学生による  
 ●キッズ市場(模擬店の) (おみやげ・賞品あり)  
 ●食育ゲーム  
 ●スーパーボールすくい等

**巨大魚の展示**  
 イベント8

**食品衛生検査所 手洗い体験コーナー**  
 イベント9  
 手洗いチェッカーを使い先でチェック!!

**鮭(サケ)のチャンチャン焼き**  
 イベント6  
 ●販売...切り身  
 ●試食...焼いたチャンチャン焼き

**スピードくじ**  
 イベント7  
 空くじなし 多数豪華賞品あり

**鳥取20世紀梨 鳥取からトップセールス**

J A 鳥取の前家生産部会長、山根青谷支店長の一行が、大果大阪青果(株)を通じて、20世紀梨の全国販売に実現した。

東野達雄府青果卸売協同組合理事長の歓迎挨拶の後、前家部会長が「本年は非常に天候に恵まれ、近年にない、平均糖度11.3度(昨年10.8度)にな

**人事異動(府市場関係)**

(敬称略、10月1日付、(内は前職))  
 ○(株)大水▽北部支社塩冷部長兼加工食品課長(大阪本場支社塩干部部長代理兼製品2課長)花本章男

ております。大阪府民の皆様には、ぜひおいしい20世紀梨を味わっていただきたい。」と挨拶。山根支店長も、「生産者も一生懸命努力して、美味しい梨に仕上がりました。皆様のご理解とご協力をいただいたの販売が生産者にとって大きな支え、力になっております。」と挨拶された。セレモニに先立って、試食が行われ、果汁と甘さがたっぷりな味を実感されていた。



**手芸教室始まる**

市場協会福利厚生部会(部会長、三木博司大阪北部中央青果(株)社長)では、福利厚生活動をより活発に行う一環として、卓球大会と手芸教室を新たに開催することとして、9月8日12時30分から13時までの間、第1回手芸教室を協会会議室で開催した。

今回の作品は、アームウオーマー。講師は(株)大水の寺前みち子さんと、7名の方が手持ちの糸、かぎ針を持参し、参加した。最初に寺前講師から編み方を説明し、各自編み始

**MTMの会 会員を募集中**

大阪府青果卸売協同組合青年会(MTMの会、東野光宏会長)は、現在10名の会員が所属し、多彩な活動を行っている。今回、活動のより一層の充実を目指して、会員を募集している。

MTMの会と「The Meeting of Thinking our Market」(われからの市場を考える会)の頭文字をとったもの。仲卸の野菜部、果実部の交流を図り、月に一回(繁忙期除く)定例会議を開いている。また、希望者を募り「産地視察」「他市場視察」6月1日福岡市中央卸売市場、9月7日名古屋市中中央卸売市場、9月13日大阪府中央卸売市場、9月20日大阪府中央卸売市場等、毎年恒例で行い、毎年恒例で「市場開放デー」にはMTMの会としてブースを設けて、「スピードくじイベント」を実

また、「みんなの薬局」も8月1日から営業を開始し、保険調剤、一般市販薬を取り扱っている。営業は9時から18時(日・水曜日休業)午前中。

今年度は、来場者の方に喜んでいただくことにより、「大阪府市場」をアピールしている。

今年度はMTMのメンバーとして、天神祭にも参加、地域の方と交流し、あわせて府市場の活性化と商売繁盛を祈願した。会員募集要項を用意していることと、ご興味のある方は青果組合までご連絡ください。

めていただくこととなった。次回は、10月6日で、両手分2枚を作ってきたいただき、綴じ方を学び、仕上げることとして、関心のある多くの皆さんの参加を呼び掛けている。



**診療所の診療再開**

管理棟2階の中央市場診療所(内科・外科)は、開設者登録を個人から「医療法人社団はじめ会」に変更する手続きが完了したので、9月1日から再開されている。当面の間、診療時間は、月・火・木金の午前中。

**第2回場内一斉大掃除を実施**

府市場協会安全部会(部会長、東野達雄府青果卸売協同組合理事)では、9月2日に水産・青果の事業者をはじめ、府市場関係者総出で大掃除を実施した。

大掃除は、食の安心・安全の確保のため、定期的に実施しているもので、今年度2回目。



卸売業者取扱高 (平成28年8月) 大阪府中央卸売市場

卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	11,248	108.4	2,408,302	95.9
	果実	5,107	107.3	1,809,789	94.8
	小計	16,355	108.0	4,218,091	95.4
水産物	生鮮水産物	1,627	94.0	1,545,431	95.2
	冷凍水産物	322	112.6	333,721	114.3
	加工水産物	963	93.8	879,946	93.9
	冷凍食品	347	99.0	162,494	99.4
	小計	3,259	96.0	2,921,592	96.9
卸売業者計		19,615	105.8	7,139,683	96.0

開場日数 平成28年・27年 23日